

1. 役員改選

新体制で第20期がスタート

任期:令和元年11月1日～
令和4年10月31日までの3年間



佐久商工会議所 第20期 役員・議員・女性会会長・青年部会長・小規模企業振興委員会会長・職員 令和元年11月27日

当所役員・議員の任期満了に伴う役員改選により、樫山徹会頭のもと新体制で第20期がスタートしました。

会頭の続投が6月24日(月)の通常議員総会で決定したのを皮切りに、三号議員は8月5日(月)の常議員会にて、二号議員は8月29日(木)から9月12日(木)に開催した各部会において選任されました。一号議員は各部会からの推薦により立候補届が提出され、10月15日(火)の選挙会にて決定しました。

副会頭、専務理事、監事、常議員の選任は、いずれも10月25日(金)の臨時議員総会で承認されました。

2. 会員参加型事業

最新サクを大公開! 「ぞっこんさく市」

開催日:10月5日(土)・6日(日) 場所:駒場公園・佐久創造館

両日とも天候に恵まれ53,000人の来場者で盛大に開催されました。出展企業の新商品や新サービスが提案され、また出店企業同士の交流など連携が進み、今後の新しい価値の創造に繋がるさく市となりました。



①子どもたちのいきいきワーク「キッズプロチャレンジ」

子どもたちが興味のある職業にチャレンジし、楽しみながら仕事を体験し学べる「キッズプロチャレンジ」を本年も開催しました。(企画・運営:(有)いきいきワーク佐久)

地元佐久の企業をもっと知ってもらい、将来地元で働いてもらうため、当所青年部や商業部会などが協力して設営した花屋やネイリスト、重機オペレーター、塗装職人など11の体験ブースで多くの子どもたちがチャレンジしました。



②熱い青春。決戦! 佐久 高校生ラーメン甲子園

信州佐久安養寺ら〜めん会は「高校生に地元食文化と仕事の楽しさに触れてもらいたい」と、佐久地域6つの高校生が安養寺ら〜めん店の店主とチームを組み、地元食材を使ったオリジナルラーメンで美味しさを競う「ラーメン甲子園」を開催しました。高校生の熱き戦いは大きな反響を呼び、長蛇の列ができる人気ぶりで味も好評でした。



3. まちづくり・商店街活性化事業

会員の声を佐久市へ要望

期日:11月6日(水)

佐久市商工団体連絡協議会（佐久商工会議所・臼田町商工会・佐久市望月商工会、浅科商工会）は、台風19号災害対策を含む以下の9項目を佐久市長に要望しました。



要望内容と佐久市からの回答（抜粋）

要望事項	回答内容（抜粋）
1. 災害ワンストップ相談窓口の設置	複数の部署にわたる相談内容については、次の関係部署の窓口までご案内し、親切・丁寧な対応を行います。
2. 佐久市中小企業振興資金融資制度の金利引下げ	国・県・信用保証協会・市内金融機関・商工団体の皆様と情報共有し状況を見極めながら、適切な対応に努めます。
3. 予算の前倒し執行と地元消費の推進	予算の執行に際しては、地元への発注や計画的かつ早期の執行に努めます。
4. 観光振興のための環境整備 ①観光局の設置 ②観光振興ビジョンの策定	①観光地域づくりの牽引役である地域観光局（DMO）の必要性は認識していますが、現段階においては、地域資源を活用した「稼げる」観光地づくりを推進することが肝要と考えます。 ②観光振興ビジョンは上位計画である佐久市交流人口創出基本計画の改定に合わせ見直しを予定しております。
5. 国が推進している国土強靱化地域計画の早期策定	国土強靱化計画策定の経費を令和2年度当初予算へ計上しており、議会議決後に全庁体制で策定に向け取り組む予定です。
6. ①佐久産業支援センター運営費補助の増額 ②首都圏企業と地元企業のマッチング支援	①産業発展につながる事業モデルに対して、適切な予算措置を検討します。 ②マッチング支援など、必要に応じた協力体制に努めます。
7. 空き店舗活用の促進と事業承継及び企業の持続的発展に向けた補助金の拡充と創設	他自治体における同様の補助金等の状況を踏まえつつ、必要に応じて、適正な補助率の設定など、検討を進めてまいります。
8. 佐久市地元企業優先発注の徹底	適正な競争原理のもと、公平性を確保した上で、地元企業の育成及び地域経済の活性化を図るため、引き続き、地元企業優先発注に努めてまいります。
9. 中小企業の外国人材受け入れに関する支援	国・県等の動向に注視しつつ、市の産業振興施策として、必要な対応について検討してまいります。



都市再生推進法人に認定される (株)まちづくり佐久

期日:3月27日(金)

「(株)まちづくり佐久」は、岩村田商店街の再開発計画の具体化をモデル的に進めており、このたび佐久市から初の都市再生推進法人に指定され、指定書交付式が行われました。
地域のまちづくりを担う法人として認定されたもので、今後は都市再生整備計画の作成や変更を市に提案でき、また、国や市から情報提供や助言などを受けることができるようになります。

3. まちづくり・商店街活性化事業

岩村田:災害のない年を願って 「初午祭」

期日:2月11日(火・祝)
場所:岩村田 鼻顔稲荷神社

当日は天候に恵まれ、五穀豊穡、商売繁盛、学業成就などとともに、災害のない年になるようにと多くの老若男女の皆さんが参拝に訪れ、縁起物のだるまやいなり寿司、大福などを買い求めていました。

また地元高校生が復興支援として、大船渡市綾里漁協小石浜青年部の協力を得て、ホタテの浜焼きやサンマのつみれ汁などを販売し、若い力で初午祭をさらに盛りあげました。



野沢:台風復興祈願 福まき

期日:2月8日(土) 場所:野沢成田山

のぞわ商店街振興組合が台風19号による災害からの復興と街のにぎわいを願って、山門市に併せて福まきを実施。今年はダルマの福引きや北斗の拳缶バッジ販売など、ご家族で楽しめるイベントが盛りだくさんの内容となりました。



ぴんころ地蔵スタンプカード

開始時期:10月～

活気あふれる街づくりにつなげるべく、のぞわ商店街振興組合が「ぴんころ地蔵スタンプカード」事業をスタート。参拝してもらえるスタンプを集めると10回で銅の色紙、50回で銀の色紙、100回で金の色紙と成田山の御朱印がプレゼントされます。地元の人に何度も足を運んでもらう事はもちろん、山梨など遠方から繰り返し参拝に訪れる方のために記念になるものをプレゼントしたいという振興組合の思いが込められています。



中込:「復興マルシェ」開催

期日:12月7日(日)

中込商店街は、台風19号による災害が大きかったこともあり「がんばろう信州佐久 復興マルシェ」を開催。当日は、約40店の出店者ブースや高校生によるあたたかい焼きいものコーナーなどに多くのお客様が集まって賑やかなマルシェになりました。

また、友好都市・岩手県大船渡市から4名の有志が、台風災害の復興支援をしたいと、さんまのすり身汁を販売、売上を商店街を通じて、佐久市に寄付しました。

商店街に足を運んでもらうきっかけづくりのマルシェは、回数を重ねる毎に出店者も増え、今後も継続的に開催し、街には元気を、来場者には憩いのひと時を提供していきます。



「輝け！中込商店街」発行

A5版 全100ページ

中込商店街は、長野県元気づくり支援金を活用し、中込中学校3年2組・4組の生徒の皆さんが中込商店街取材して、各店の特徴をまとめた冊子を作成。

商店街イベントや施設等の掲載もあり、1冊で中込が丸わりの保存版となっています。冊子は、掲載各店、また中込・平賀・内山地区に配布しました。



4. 災害復興支援事業

「台風19号災害対策緊急経営相談室」を設置



10月12日(土)から13日(日)の未明にかけ長野県や関東・東北地方を襲った台風19号は、佐久市においても未曾有の被害をもたらしました。千曲川や支流の氾濫・堤防決壊による建物の損壊や浸水、滑津川橋梁の損壊によるJR小海線の運休、さらには停電などによる住民生活に大きな支障がでるとともに、産業や経済にも影響を及ぼしました。

当所では、この事態を重く受け止め13日に「台風19号災害対策緊急経営相談室」を設置し、特に被害の大きかった地区を職員が巡回、また電話やFAXなどでも情報収集を図り、各団体や専門家等と連携し、復興支援を行いました。

また、1日も早い復旧・復興を支援するために会員の皆様に義援金の協力をお願いし、137会員事業所の皆様から合計5,715,928円のご厚志が寄せられ、被災した会員事業所様にお届けいたしました。

さらに、被災事業者に対して、グループ補助金や持続化補助金を活用するため支援を続けています。

会員企業支援に全力！

「新型コロナウイルスに関する経営相談窓口」を設置

新型コロナウイルス感染拡大を受け、影響を受けた中小・小規模企業を集中的に支援するため、「新型コロナウイルスに関する経営相談窓口」を設置しました。

会員アンケートを実施し、希望が多い金融・経営・労務・補助金などの問題をワンストップで相談できる個別相談会や、雇用調整助成金の専門相談会なども開催し、先の見えない状況の中で会員企業の経営継続・雇用維持のため、県・市・他団体とも連携し支援を行っています。



5. 経営支援事業・交流事業

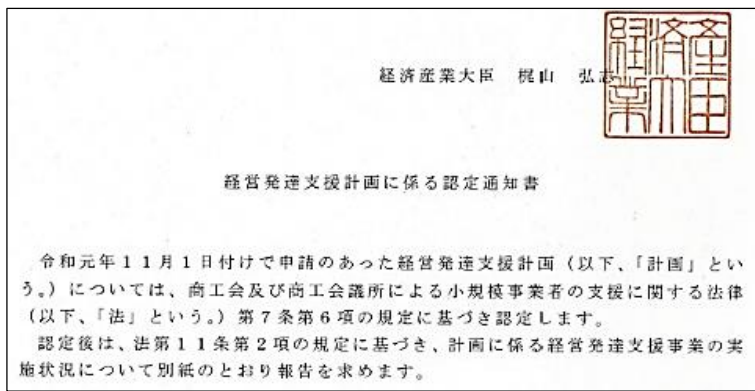
経営発達支援計画が認定される

経営発達支援計画は、小規模企業支援法に基づき、地域小規模事業者の持続的発展に向けた5ヶ年計画を商工会議所等が策定し、経済産業大臣が認定するものです。

当所は平成27年に策定した実施計画期間が満了するため、第2期計画申請を行い、令和2年3月16日付けで認定されました。

計画の内容には、経営相談をはじめ持続化補助金申請、経営計画策定、創業、事業承継、販路開拓、IT導入促進、地域資源活用などの支援が盛り込まれています。

対象期間:令和2年4月～令和7年3月迄の5年間



経済産業大臣からの認定通知書

「ITなんでも相談室」

モバイルPOSレジ導入、キャッシュレス化対応、業務効率化などITに関する「ITなんでも相談室」を8月から毎月開催しました。

また、6月はキャッシュレスに関する「今すぐ始めるキャッシュレス決済セミナー」、1月には「キャッシュレス使い方セミナー」を開催するなど、会員からの要望に沿ったセミナーを開催し延べ58人の参加がありました。



夢に挑戦！佐久創業塾

日程:9月4日～10月4日

「創業」を目指している人を対象に、経営者としての心構え、ビジネスプランの作成、融資制度や補助制度、成功事例の紹介など創業に役立つ実践的知識を習得する『佐久創業塾』を開催しました。

全5回の体系的な講座で、創業希望者及び創業間もない方14名が受講しました。

創業後も継続的に資金繰りや販促、税務などをフォローアップしていきます。



▲グループワークで創業を目指す

異業種交流会 期日:2月21日(金) 「しゃべり場」

当所小規模企業振興委員会（岡本直樹会長）では、建設業や情報産業、サービス業など異なる業種の会員が集い懇談する「異業種交流会しゃべり場」を開催し36名が参加しました。

冒頭では、なじみの薄いボッチャのルールや試合方法を体験。「しゃべりましょう！出会いましょう！」と題した交流会では、ステージでのスピーチもあり交流を深めました。



▲ボッチャ体験

集い！語ろう！つながろう！ 士行種交流会 期日:8月2日(金)

当所理財部会（下平匡克部会長）では、佐久グランドホテルにて第6回士行種交流会を開催し40名が参加しました。

「キャッシュレス決済の動向」と題した講演会を（一財）長野経済研究所 中村亮介氏を講師に開催。交流会では、士業と金融機関等の皆様が情報交換に花を咲かせました。



6. 表彰、共済・その他事業

商工業振興に貢献された皆様に 表彰状・感謝状を贈呈

当所の役員・議員で長年の活動を通じて佐久地域の商工業振興に貢献された次の方々に、表彰・感謝状を贈呈しました。

・県知事表彰（産業功労）（以下、順不同）

井上 隆 様 (株)パスカル

・佐久市長表彰（商工業振興）

佐々木正行 様 (株)佐々木工業

杉岡 務 様 (株)ビップ

市川 章人 様 (株)魚甲商店

・日本商工会議所会頭感謝状

市川 章人 様 (株)魚甲商店

佐々木正行 様 (株)佐々木工業

杉岡 務 様 (株)ビップ

平林友一郎 様 (株)平林組

中嶋 良夫 様 中島木材(株)

佐藤 剛 様 佐久商工会議所



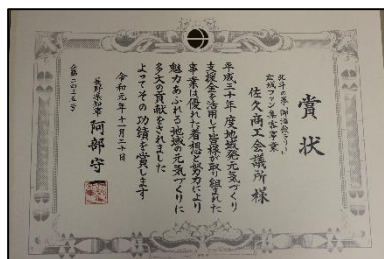
日本商工会議所から 組織強化表彰を受賞

当所が高い組織率を維持している事が評価され、日本商工会議所の三村明夫会頭より組織強化表彰を受賞しました。(平成31年4月1日現在組織率62.2%)

「御酒飲ラリー」事業が 県知事表彰を受賞

3年間実施した「御酒飲ラリー」事業が県知事表彰を受賞しました。

県外客を含む多くの皆様に、佐久の地酒や郷土料理等をPRでき、また観光振興にも寄与したことが高い評価に結びつきました。



共済制度還元で川上村体験ツアー

期日:9月29日(日)

共済制度還元事業として川上村の高原野菜収穫や歴史・食文化に触れるツアーを開催し44名が参加しました。

茅葺屋根の古民家で囲炉裏を囲み、川上村の伝統食「はりこしまんじゅう」作りを体験。また、県の天然記念物「川上犬」の犬舎や川上村の歴史シアター等を見学し、非日常的な心地よい時間を過ごしました。



「ワークライフバランス 実現企業」認定第一号

期日:3月24日(火)

当所通常議員総会にて「ワークライフバランス実現企業」認定第一号として、(株)西軽精機（上原大輔代表取締役社長）へ認定証と認定マークが贈呈されました。

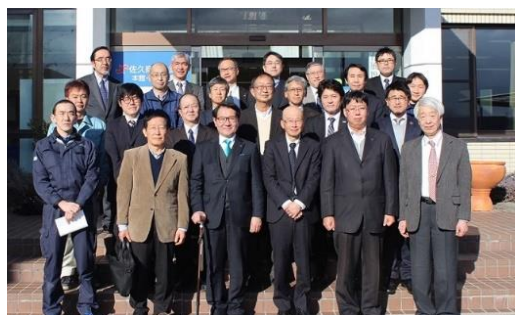
本事業は、3年間長野県元気づくり支援金事業を活用して、当所ビジネスキャリアセンターアドバイザーが中心になり実施した「ワークライフバランス向上の地域活動」です。この活動に参加し認定基準を達成したことにより認定されました。



「佐久ものづくり研究会」 次なるステージに

平成16年発足から15年間、製造業部会等の有志が集まり共同で新商品の開発や試作により技術力を高めてきました。一定の成果も出たことから、今後は（一社）佐久産業支援センターに統合し、新たなステージで会員主導により研究や開発に挑戦することになり、令和2年1月、解散総会を開催しその幕を閉じました。

佐久地域をけん引する製造業が次なるステージで発展することを願い、当所も全面的に支援していきます。



▲今までの活動に感謝と、新たな挑戦を願い

7. 販路開拓支援・その他事業

大切なあの人に、なにを贈ろう 「佐久のお土産」冊子作成！

掲載企業 25事業所
発行数 10,000部

食料品工業部会(上原 浩部会長)では、地酒や漬物、味噌などの発酵食品をはじめ佐久鯉の加工品、そば、菓子など地域を代表する多くの「食品」の中から、個性豊かなお土産に相応しい品々を掲載した「佐久のお土産」冊子を作成しました。新聞等多くのメディアでも取り上げられ話題になりました。



コロナウィルス緊急対応 持ち帰り料理のお店をPR

掲載企業 44事業所
発行数 30,000部

新型コロナウイルス感染症の影響で歓送迎会や謝恩会などのキャンセルが相次ぎ、特に飲食業界は経営に大きな打撃を受けている中、自宅でプロの味を楽しんでいただこうと、持ち帰り料理のお店を紹介するチラシを作成。新聞折込やHP、SNSなどでも情報を広げ大きな反響を呼びました。



ワンツーコイン プレミアムパスポート

実施期間:11月15日(金)~12月8日(日)

4回目となるワンツーコインプレミアムパスポート事業は、飲食店が26店舗、その他57店舗、計83店舗が参加し、ファンになっていただくための工夫を凝らしたサービスを提供しました。終了後に行ったアンケート結果では、新規お客の来店が5割以上のお店が78%ありました。



プレミアムパスポート

まちににぎわいを取り戻そう！ 岩村田・中込料飲組合が 復興イベントを開催

岩村田:3月8日(日)
中込:3月29日(日)

台風19号災害に加え、新型コロナウイルスによる自粛等の影響で飲食店は予約のキャンセルが相次ぎました。そこで、岩村田・中込の料飲組合では街中に賑わいを取り戻そうと、大抽選会イベントを開催し、大勢のお客様で賑わいました。



濱田信州大学学長が 市内企業を訪問 期日:9月3日(火)

信州大学の濱田州博学長をはじめ下坂誠繊維学部部長、村上泰繊維学部教授、松岡浩仁工学部准教授の4名が市内3企業を視察し懇談しました。視察先は、吉田工業㈱、㈱シナノ、長野吉田工業㈱で、各社とも製造現場を見学しながら、ロボット活用による自動化促進や大学シーズ導入による新製品開発、更には人材育成や確保など信州大学との連携の可能性について幅広い意見交換となりました。



中部横断自動車道 長坂JCT(仮称)～ 八千穂高原IC整備区間への格上を要望

期日:9月26日(木)

中部横断自動車道経済懇談会が、小諸グランドキャッスルにて開催され、当所から役員・議員、女性会、青年部等23名が出席しました。

決議文は、当所榎山会頭が読み上げ、基本計画区間である長坂JCT(仮称)～八千穂高原ICの整備計画区間への早期格上により、中部横断自動車道の1日も早い全線開通と関東大環状連携軸構想の実現を国へ要望する事が全会一致で採択されました。



8. 女性会・青年部事業

大船渡商工会議所女性会と交流 復興現場も視察

期日:7月3日(水)~4日(木)

昨年2月に大船渡商工会議所女性会 谷地美枝子会長と水野いり子副会長をお招きし、復興の様子などをお話いただきました。その現場を実際に見て、大船渡女性会の皆さんと交流し親睦を深めるため、大船渡市を当所女性会14名が訪問しました。

交流会では、谷地会長から、女性会会員で構成する太鼓チームの活動や震災のあった2011年に佐久商工会議所が寄贈した軽自動車が大鼓の運搬用に今でも活躍していることなどの報告がありました。



▲ 大船渡・佐久女性会みんなで記念撮影



▶ かもめの郷お菓子ファクトリーIII見学

女性会 さく市で 復興支援バザー

開催日:10月5日(土)・6日(日)

さく市の女性会ブースでは、おかんの特製おでん「5でんじゃー」や棒アイスの販売、復興支援バザー、フードドライブ紹介と今年も盛り沢山の内容で多くの来場者で賑わいました。売上の一部を台風19号災害義援金として、佐久商工会議所へ寄附しました。



▲ 賑わう復興支援バザー



▲ 中村会長より檜山会長へ義援金を贈呈

心も体も温まる炊き出し 青年部・安養寺ら〜めん会連携

期日:10月15日(火)

青年部と安養寺ら〜めん会のメンバー総勢21名が台風19号の被害の大きかった杉の木地区の公会場にて、被災者やボランティアの皆さんにラーメン118杯の振る舞いや清掃作業のボランティア活動を行いました。被災者からは「温かい食事は心まで温まる」という感謝の言葉をいただきました。



青年部 「佐久市台風19号災害 義援募金」実施

青年部では、臼田町商工会、佐久市望月商工会、浅科商工会の各青年部と連携・協力し、被災された方々を支援するため、義援募金事業を実施しました。市内参加協力店147箇所の店内や事業所に募金箱を設置し、多くの皆様にご協力いただきました。

